



研修の様子を紹介します

学級経営力向上講座：5 / 9（月）

上越教育大学教職大学院教授の赤坂真二様から「個別最適な学びと協働的な学びを支える学級経営力」と題し、児童生徒が自他を大切にしながら、安心して学びに向かう集団づくりについて、ご講義いただきました。その後、昨年度の受講者からの実践発表、自身の学級経営の現状と課題を踏まえた受講者同士のグループ協議・演習を行いました。

10月17日（火）に行う2日目では、それぞれが取り組んだ実践の報告と協議を行い、児童生徒の笑顔あふれる温かい学級経営を目指して研修を深めます。



グループ協議の様子



受講者の声

個別最適な学び、協働的な学びの実現には、安心して援助を求め合える学級の基盤が必要不可欠だということを学びました。教師の信念や一貫性が大切であることを改めて学びました。

自分の考えをアウトプットすることで、現状や課題が整理されていきました。協議では、すぐに実践できるアイデアを協力して出し合うことができ、実践への意欲が高まりました。

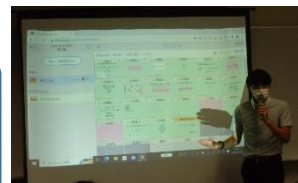
ロイロノート・スクール基礎講座：5 / 15(月), 30(火)

株式会社LoiLoの授業支援クラウド「ロイロノート・スクール」について、基礎的な知識と技能の習得を目的として、講義・演習を行いました。受講者は、使い方についての説明を受けた後、実際にノートを作成して、双方向の授業場面を想定しながら、課題の作成や回収など、基本的な操作を習得しました。

受講者の声

今までは、教師側の操作のみを体験することが多かったので、児童の方からどう見えているのか、児童がどんな手順を踏めばよいのかわからず、うまく教えられなかった。今日は双方を体験することができたので、とてもわかりやすかった。

実際の授業ですぐに活用できる内容が多く含まれていた。今後の授業においては、積極的にクラウドサービスを活用していきたい。



今号から3回に分けて、当センターが行っている調査・研究テーマについて紹介します。初回は、「教育相談、生徒指導、健康教育」と「主体的・対話的で深い学び」です。

教育相談、生徒指導、健康教育

「子どもの成長・発達を支える生徒指導～自分の感情を理解し、適切に表現する力の育成～」をテーマに調査・研究を行っています。

令和4年12月に改訂された生徒指導提要では、主に集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと、個々の児童生徒の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングの双方による支援の重要性が明記されました。生徒指導上の課題として、うまく集団になじめない、学級が落ち着かない、人間関係の悩みなど、児童生徒は、学習の不安だけでなく、学校生活や進路での不安や悩みを抱えることが少なくありません。児童生徒のストレスが大きくなると、自分や他者を攻撃する、動けなくなるなどの不適切な行動が見られることがあります。

そこで、感情を表出する行動のコントロールと、社会性を育てることを目的とした指導の充実を図るために、当センターの講座「感情をコントロールする力と社会性を育てる生徒指導講座」で日本SEL研究会 理事長 宮崎 昭様から「ソーシャルエモーショナルラーニングSEL（社会性と情動の学習）」について御講義いただきました。御講義でいただいた様々なアイデアをもとに、受講者はこれから勤務校で指導を実践する予定です。今後、当センターでは教職員のニーズを把握するとともに、指導案を蓄積し、情報発信することを計画しております。



日本SEL研究会理事長
宮崎 昭様

主体的・対話的で深い学び

「主体的・対話的で深い学びを導く単元デザイン」をテーマに調査・研究を行っています。

実践できているようで難しい「主体的・対話的で深い学び」について、「単元デザインシート」（右図）を活用しながら、単元全体を見通した授業づくり・授業改善について、研修講座「単元デザイン講座Ⅰ（理論編）、Ⅱ（実践編）」をとおして、情報発信します。

当センターが作成した「主体的・対話的で深い学び実践ハンドブック」、「単元デザインシート」は、当センターのWEBサイトからダウンロード可能ですので、ご活用ください



作成例 第5学年 国語科 単元デザイン（全14時間扱い）

令和●●●●月●●日●●
授業者 ●●●●小学校
教 諭 ●●●●

- 単元名 和の文化について調べよう
教材名 「和の文化を受けつぐ—和菓子をさぐる」（東京書籍 5年）
- 単元の見直し
(1) 情報と情報との関係付けの仕方を理解する。(知識・技能)
(2) 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付け、論の考え方を考えることができる。【読むこと】(思考力・判断力・表現力)
(3) 目的や意図に応じて資料を活用し、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書くことができる。【書くこと】(思考力・判断力・表現力)
(4) 課題解決に必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりし、書き表し方を工夫して調べたことを報告するパンフレットを作ろうとする。(学びに向かう力、人間性等)
- 目指す子ども像（資質・能力）
・自分に必要な情報を取捨選択し、活用できる子
・資料を活用し、自分の考えが伝わるように文章を書くことができる子

4 単元の指導計画と学びの実践ポイント（本時 1/2/14）

次(時数)	学習活動	主体的	対話的	深い学び
1(1)	「和の文化を受けつぐ」を読み、「和の文化」について調べ、報告するパンフレットを作るという単元の目的を整理する。	単元の目的を整理する	実践のパンフレットを確認	
2(2)	「和の文化を受けつぐ」を読んで筆者の説明の仕方を読み取る。	見出しを確認		読む、でたてにわかる
7(7)	「和の文化」について説明する観点に即って調べ、情報をまとめる。	「和の文化」に関する1冊の資料活用		ワークシート
10(10)	情報を整理して報告の文章を書き、パンフレットをデジタルブックで作る。	見直しを確認し、レイアウトの整理を目的とする。		伝える、自分で考えたりする
3(14)	単元の学習を振り返り、資料を使った説明の仕方を確かめる。	振り返りシート		振り返りシートを確認

お知らせ

基本研修に係る受講該当者の調査について

今年度も、来年度に向けた「基本研修受講該当者調査」を7月から8月にかけて実施します。来年度に教職2年目、6年目、13年目となる方が基本研修の受講該当者となります。例年、「基本研修の受講通知が来なかった」という問合せがあります。これは、前年度に実施した「基本研修受講該当者調査」で該当者が報告されていなかったことが原因です。この調査に基づいて受講通知を発出しますので、各学校においては、該当者の漏れ落ちがないように確認のうえ、報告をお願いします。